



鉄道高架化通信



第46号

令和6年10月発行
発行：豊田市建設部街路課

～足場の中の様子をご紹介します～

若林駅周辺の高架構造物整備について

若林1号踏切の周辺では、構築が完了した柱が足場で囲まれています。足場の中では、レールを布設する高架の床部分の整備を行っています。



高架の床部分の様子



柱が姿を現した若林駅部を足場から望む



高架の床部分の構築中の様子



若林駅方面を足場から望む

ちょっと途中下車①

～君も高架化探検隊～

若林ふれあいまつりにて、現場を見学することが出来ます。普段は入れない工事ヤードの中へご案内します。

なお、足場に乗ることや高架構造物の下に入ることはできません。

日時：令和6年10月27日（日）
時間：午前10時～午後2時（随時）
場所：若林駅付近
受付：若林交流館（若林ふれあいまつり街路課ブース）
内容：事業概要の紹介、工事現場の見学
その他：・小学生以下のお子様は保護者同伴のうえお越しください
・運動靴等動きやすい服装でお越しください。
・希望者多数の場合は、安全確保のため入場者数を制限する場合があります。

ちょっと途中下車②

～新しい車両が走り出しました～

三河線を新しい車両が走り出したとの情報をいただきました。乗られた方はいらっしゃいますでしょうか。



ちょっと途中下車③ ～高架化探検隊(名鉄瀬戸線喜多山駅編)～

他の鉄道高架化事業を調査する高架化探検隊。今回は、国土交通省と名古屋市が事業主体として事業が進められている名鉄瀬戸線喜多山駅付近のまちの様子を調査してみました。

愛知県瀬戸市の尾張瀬戸駅と名古屋市の栄町駅を東西に結ぶ名鉄瀬戸線の中で、名古屋市守山区に位置する喜多山駅。東側で国道302号と、西側では県道名古屋瀬戸線（瀬戸街道）と交差します。両道路とも交通量の多い主要路線であり、桁架設時の夜間通行止めの交通影響は大きかったのではないのでしょうか。また、住宅が密集し道路も狭い瀬戸線周辺では、資材搬入などの工事現場の出入りが大変なのではないかと想像されます。

また、喜多山駅は、若林駅と同様2面4線幅で整備される予定です。南側外観はすでに完成済みで、右の写真のようなデザインとなりました。住宅密集地に姿を現した高架駅は存在感があり、まちの玄関口、象徴になると実感しました。

若林駅も地域の皆様に親しまれる自慢の駅になることを願いながら、安全第一で工事を進めていきます。



喜多山駅南側外観



高架切替が完了した栄町方面ホーム



瀬戸街道と名鉄瀬戸線との交差点



国道302号と名鉄瀬戸線との交差点

事業スケジュール

① 用地の取得

② 準備工事

③ 工事説明

④ 仮線工事



⑤ 仮線への切替



⑥ 高架本体工事開始



⑦ 高架本体への切替



⑧ 仮線撤去・側道等の整備

⑨ 工事完了

豊田市建設部街路課 建設第3担当
電話番号：0565-34-6651（直通）
FAX番号：0565-35-8196
メール：gairo@city.toyota.aichi.jp